

# 令和6年産 美里地区の大豆情報

大豆パワー!!



第4号 令和6年9月6日

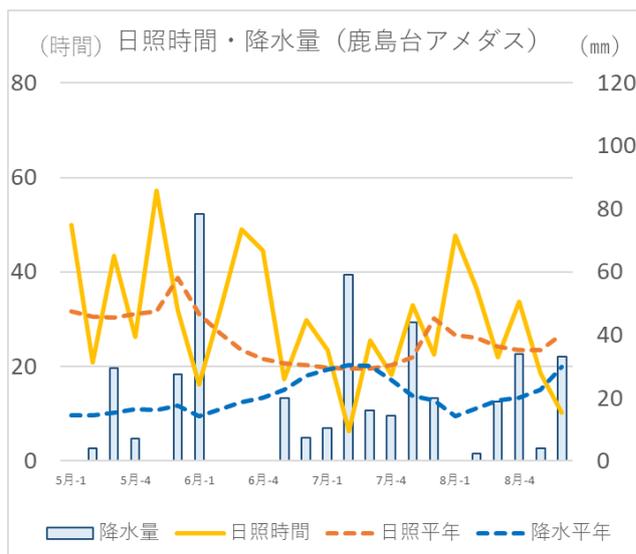
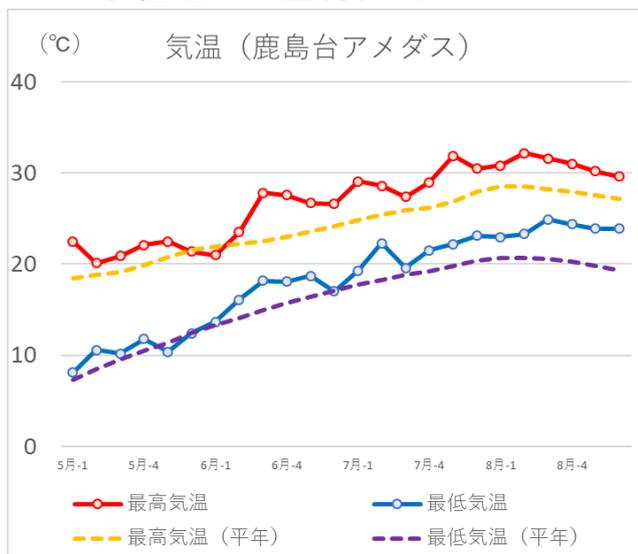
宮城県美里農業改良普及センター

TEL:0229-32-3115

FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/

## 1 気象経過及び生育概況



- 生育期間を通じて高温傾向が続いており、特に最低気温が高い傾向です。
- 日照時間は5月以降、平年より多い傾向が続いていましたが、8月下旬は台風の影響などで平年を下回っています。
- 降水量は8月に入って定期的に降水が観測されており、前年のような極端な乾燥は見られません。

## 管内の大豆生育概況

表1 生育調査結果 (調査日: 9月4日)

品種	調査地点	区分	播種日	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)
タチナガハ	涌谷町岸ヶ森	本年値	6月13日	50.2	13.0	3.3
		前年差	-6日	-6.9	-0.6	0.0
	大崎市田尻大沢	本年値	6月8日	92.8	16.2	1.9
		前年差	+8日	25.1	0.9	-2.2
	大崎市鹿島台木間塚	本年値	7月1日	77.3	12.8	1.2
		前年差	+8日	11.0	-1.1	-2.9
ミヤギシロメ	涌谷町岸ヶ森	本年値	6月13日	71.2	15.7	2.7
		前年差	-6日	-7.1	-1.6	-0.5
	美里町青生	本年値	6月18日	79.9	14.8	3.7
		前年差	+11日	-5.6	-0.5	-0.5

- タチナガハ及びミヤギシロメではともに子実肥大期に入っています。
- ほ場によって主茎長は差があり、主茎節数及び分枝数は前年並み~やや少なめとなっています。
- 一部のほ場ではハダニ類による葉の黄変や、黒根腐病の株が確認されています。

## 2 今後の管理

### (1) 湿害対策 大雨に備えてほ場の排水対策を確認しましょう

- ・9月は8月に次いで台風の発生数が多い月であり、引き続き大雨の心配があります。改めて排水溝や明きよの点検に努め、排水溝との接続を確認するなど、急な雨に備えて、ほ場の排水機能を確認・改善しましょう。

### (2) 雑草対策 手取りや薬剤散布により雑草種子を増やさないようにしましょう

- ・アオビユやエノキグサなど、雑草の発生量が多いほ場が散見されます。草種に合わせた対策を行いましょう。
- ・アメリカセンダングサやシロザ、オオオナモミなどは大型化し、コンバイン収穫の妨げとなるほか、イヌホオズキなどは汚粒の原因ともなります。手取り除草を早めに行うなど、雑草の種子をほ場に落とさないよう心がけましょう。
- ・除草剤を使用する場合は、「吊り下げノズル」や「万能散布バー」を使用した畦間処理や、専用の器具を用いた除草剤塗布処理が可能です（宮城県「普及に移す技術」第87号参照）。
- ・アレチウリや帰化アサガオなどの難防除雑草が発生しているほ場が確認されています。発生状況により大幅な減収になる可能性があります。手取り除草を行いましょう（次年度以降の対策としては、有効な除草剤による体系処理や大豆の苗立ち向上、適期作業の励行などを再確認しましょう）。  
→宮城県「普及に移す技術」第90号「大豆作における難防除雑草アレチウリの対策」、帰化アサガオ類まん延防止マニュアル（農研機構）をご参照ください（右記QRコードをご利用ください）。



大豆作における難防除雑草  
アレチウリの対策



帰化アサガオ類まん延  
防止マニュアル



帰化アサガオ類

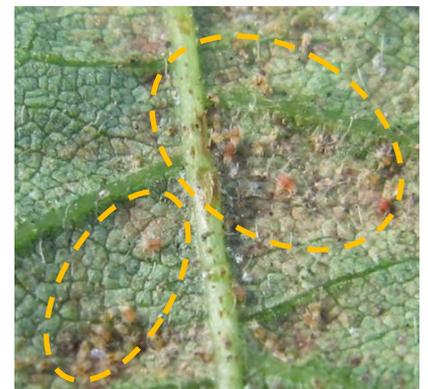


アレチウリ（みやぎの大豆・麦類栽培技術指導指針 より）

### (3) 病害虫対策

べと病やハダニ、チョウ目害虫の被害が確認されています

- ・県病害虫防除所の発生予察情報第8号（令和6年8月28日発行）によると、多湿条件で発生しやすいべと病は発生量「やや多」、紫斑病は発生量「平年並」と推測されています。一方でハダニ類は多発ほ場が確認されているほか、葉や子実を食害するチョウ目害虫は、オオタバコガ及びシロイチモジヨトウが共に発生量「多」と推測されています。管内の防除は概ね適期に実施されていますが、ほ場の状況を確認し、必要に応じて追加防除を検討しましょう。



ダイズの葉裏のハダニ

農作業安全確認運動展開中！（9月1日～11月30日）

スローガン

「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

シートベルト・ヘルメットの着用を徹底！